

# 情報連絡員報告総括表(平成29年7月分)

三重県中小企業団体中央会  
連絡員総数 40名  
回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況								
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		3	1	1	3		1	3			4		1	3		3	1		4			3	1		3	1						
	織 維 工 業	1	2			3		1	2			2	1		2	1		2	1		3			3			2	1					
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1				1			1		1				1			1			1					
	紙 ・ 紙 加 工 品	1		1		1	1	1	1			2		1		1	1	1			1	1		1	1	1	1	1					
	印 刷		1			1			1			1			1		1			1			1			1		1					
	化 学 ・ ゴ ム																																
	窯 業 ・ 土 石 製 品	1	1	1		3			3			3			3			3		1	2			3			3						
	鉄 鋼 ・ 金 属	1				1			1			1			1			1		1			1			1							
	一 般 機 器	1	2		1	2			3			3		1	2			3		1	2		1	2			3						
	電 気 機 器		1			1			1			1			1			1			1			1			1						
輸 送 機 器	1				1			1			1			1			1		1			1			1								
そ の 他																																	
小 計	6	10	4	2	17	1	3	17			18	2	2	12	6	1	17	2	4	14	2	3	15	2	3	15	2						
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		1	1			2			1	1			2		X				2			1	1						
	小 売 業	3	1	2		6		1	2	3		4	2		3	3		3				3			6			4	2				
	商 店 街		1			1			1			1			1			1								1			1				
	サ ー ビ ス 業	1	2	2	X				5			5			4	1		3				2					5			4	1		
	建 設 業	2	2						1	3			4		1	3		1				3							4		1	3	
	運 輸 業		1									1			1			1						1					1			1	
	そ の 他		1									1			1			1						1					1			1	
小 計	6	9	5					8	1	2	14	4		18	2	1	14	5	1	14	5				20			1	15	4			
合 計	12	19	9	2				25	2	5	31	4		36	4	3	26	11	2	31	7	4	14	2	3	35	2	4	30	6			

## 最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成28年7月～平成29年7月)

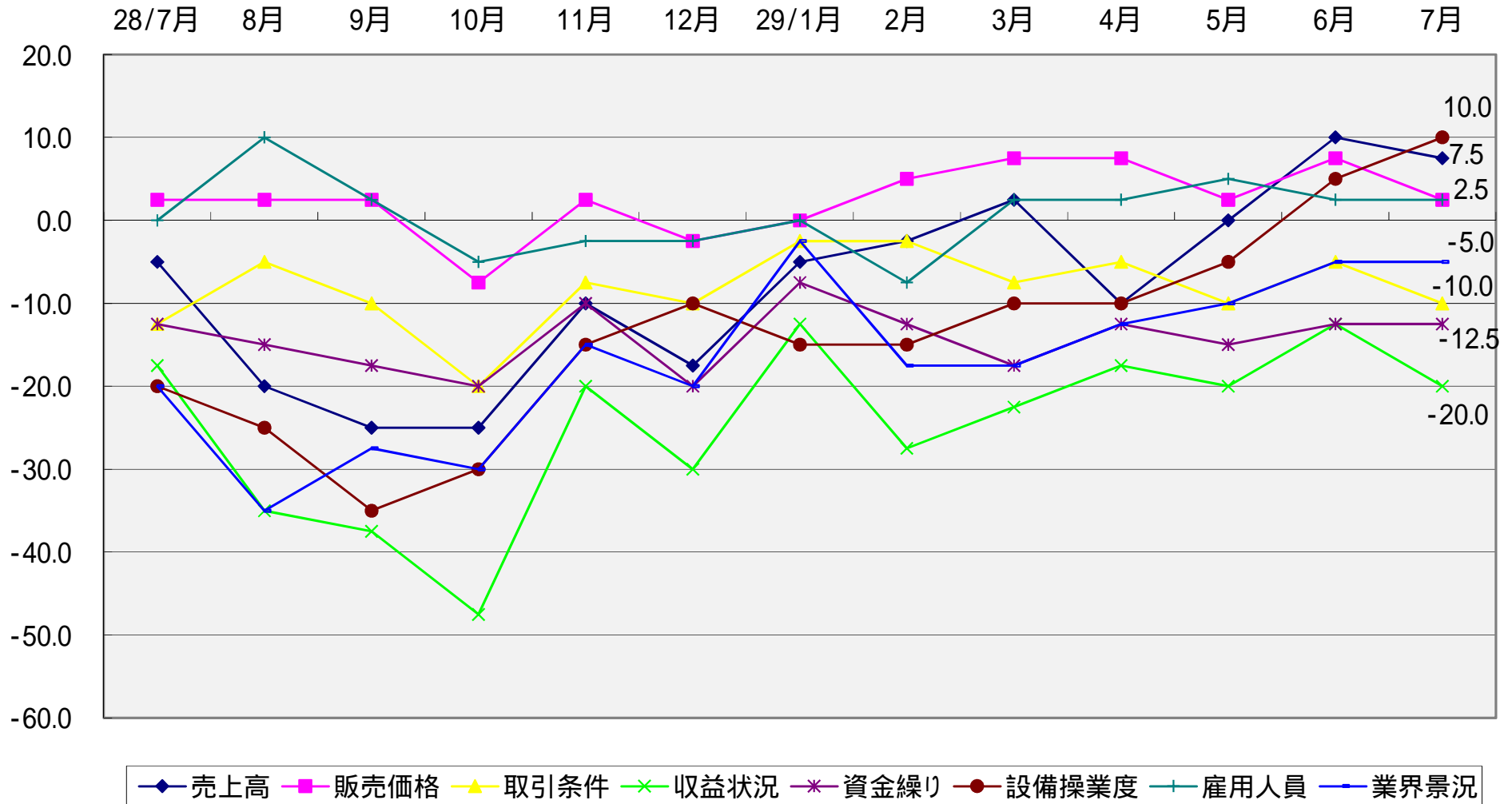
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	28/7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	増減
売上高	-5.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-17.5	-5.0	-2.5	2.5	-10.0	0.0	10.0	7.5	-2.5
販売価格	2.5	2.5	2.5	-7.5	2.5	-2.5	0.0	5.0	7.5	7.5	2.5	7.5	2.5	-5.0
取引条件	-12.5	-5.0	-10.0	-20.0	-7.5	-10.0	-2.5	-2.5	-7.5	-5.0	-10.0	-5.0	-10.0	-5.0
収益状況	-17.5	-35.0	-37.5	-47.5	-20.0	-30.0	-12.5	-27.5	-22.5	-17.5	-20.0	-12.5	-20.0	-7.5
資金繰り	-12.5	-15.0	-17.5	-20.0	-10.0	-20.0	-7.5	-12.5	-17.5	-12.5	-15.0	-12.5	-12.5	0.0
設備操業度	-20.0	-25.0	-35.0	-30.0	-15.0	-10.0	-15.0	-15.0	-10.0	-10.0	-5.0	5.0	10.0	5.0
雇用人員	0.0	10.0	2.5	-5.0	-2.5	-2.5	0.0	-7.5	2.5	2.5	5.0	2.5	2.5	0.0
業界景況	-20.0	-35.0	-27.5	-30.0	-15.0	-20.0	-2.5	-17.5	-17.5	-12.5	-10.0	-5.0	-5.0	0.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### 最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成29年7月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	漬物	現在、漬物業界では、生産現場の環境改善と働き方改革にも含まれる社員等の意識高揚と発酵食品の確認システムへの対応が検討されている。特に、発酵漬物についてのJAS規定化については、発酵レベルにより「マイルド(温和)」、「ライト(軽度)」、「ヘビー(充分)」に区分し、消費者の方々に発酵の概念を理解していただく準備が進んでいる。乳酸発酵は体に良い効果が科学的にも証明されており、県内企業の勉強会ででも取り組んでいるところである。
		醤油味噌	相変わらず厳しい状況である。甘酒は好評である。昨年に続き、今年も10月1日は醤油の日記念「ふるさとしょうゆ名プレゼント」を9月1日から行う。ご希望の都道府県で造られているしょうゆを各都道府県別に抽選し、当選者にプレゼントする。今は参加しょうゆメーカー募集中(8月18日まで)である。詳細は、9月1日以降「しょうゆ情報センター」のホームページで公表している。
		豆腐	昨年同時期と比べ、豆腐の原材料の大豆は若干安値である。
		製麺	夏の商品は業者により様々であり、この時期であるということもあるが、やや暑い気候であることもあり、伊勢うどんは低調である。8月26日、27日に代々木公園で行われる毎年恒例のU-1グランプリのイベントに参加する。また、10月、11月、12月と秋田県、新潟県湯沢市、埼玉県熊谷市、香川県高松市に伊勢うどんのPR活動に赴く。
	繊維工業	衣料	外国人技能実習生制度の改正に伴い、今後どのように事業が改善並びに発展していくかを見守りたい。大手企業重視の経済発展に中小企業がどこまで改新できるか疑問である。
	木材・木製品	木材	EUとのEPA交渉の大枠合意により、林産物では、構造用集成材等の即時関税撤廃は回避されたものの、一定の関税撤廃期間を設けて撤廃されることになった。今後、国内製材業界に与える影響を注視する必要がある。
	紙・紙加工品	紙器段ボール	猛暑のため、冷菓や飲料関係の需要が増加している。ただ、仕事内容が細かくなり、操業効率が悪化する。
		古紙	7月期の仕入量は、前年比：段ボール・約98%±3%位、新聞、チラシ・約93%±3%位、雑誌、雑紙、その他・合わせて約93±5%位の中での推移である。宅配サービスやコンビニを通じて夏物の需要である飲料や冷凍食品等の段ボール古紙は好調の様で、前年並みの集荷となる組合員がある。箱の重量が薄物化・軽量化となり物量は増えていると考えられる。少子高齢化、国内居住者の減少、スマホ等の使用により減少し、新聞雑誌の購入減少は広告やチラシの減少を伴い、着実に製紙原料古紙の流通量を減らしている。7月より製紙原料等の大手資材購入会社から購入古紙標準価格改定の知らせがあった。古紙の輸出価格は、春先価格以上の手取価格となっている様で、製紙会社の古紙在庫は減少しているようである。古紙の持ち去りでは、5年近く流通防止のために様々な対策してきたが、知能犯化し、イタチごっことなって悪質化しており、持ち去り行為の撲滅には程遠いように感じる。
	印刷	印刷	官公庁等の入札仕様書の中に「印刷物の著作権については発注側に帰属すること」等の記載があることで、著作権や知的財産権に関するトラブルが全国的に起こっている。7月に閣議決定された「平成29年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」の中で、新たな取り組みとして「国等は、知的財産権の財産的価値について十分に配慮した契約内容とするように努めること」という項目が追加された。しかしながら、行政側、組合側ともにこの内容を認識し、理解することが重要になる。
	窯業・土石製品	伊賀焼	例年、夏の期間は、売上及び入館者数とも落ち込む時期であるが、伊賀・信楽古陶館の売上が昨年少し上回ったが、それ以外は昨年を下回った。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は、自動車関連は6月とほぼ同様、電気機器関連もほぼ同様であった。その他の製品に関しては、少品種、小ロットで数量的には相変わらず増加傾向にあった。半導体関連は、6月よりも増加傾向にあり、8月も更に増産体制が続く、盆休みも返上し生産する状況である。
	一般機器	四日市	先月とあまり変化なく推移しており、各組合員独自の努力によって成果を上げている。環境の改善は見られないが、その中で各々が頑張っている。
		伊勢	全国的に地震や大雨などによる被害が相次いでおり、海に近いエリアの組合員も多いことからBCPに対する関心は高い。現状では、BCPの体制面やハード面で十分といえない中小企業がほとんどであるが、従業員の安否確認訓練等を徐々に進めていくなど、組合員間で情報交換を行っている。
電気機器	鳥羽	景況は、ゆっくりとプラス方向に動いている。利益を鑑みず悪くならない程度に推移している。	
輸送機器	鈴鹿	こここのところ2~3年後に立ち上がり予定の製品の見積もり引き合いが多いが、従来の「自動車部品」とは違うものが増えている。最近、「モーター」や「電気部品のケース」のようなより細かい精度管理が求められる部品が多く、設備投資の方向性の再検討が求められている。	
非製造業	小売業	青果	野菜：前半は全般的に暑い日が続いた影響で火を通す必要のあるジャガイモ・里芋・大根の売れ行きが悪く、キャベツ・レタス・白菜はお値打ちである。後半も安値が続いているが、売れ行きは低調である。特にキャベツ・レタス・白菜が安い。おくらもお値打ちである。夏野菜の定番であるゴーヤ、モロヘイヤはやや高い。果物：スイカは長野県産が中心で、味も良く、暑さで需要が多く、値上がり気味である。ギフト用の桃・ハウスみかん・梨・メロンも入荷は順調で安定している。
		自転車	上旬に中部自転車ブロック会が富山県で開催され、各県の情報交換を行った。自転車安全点検全国普及活動、自転車メカニシャン養成・役職員指導者研修会・自転車保険加入(TSマーク)・自転車共同購買等の事業を取り決めた。各県とも少子化の影響により、平均20%の台数売上の減少となっている。県内では、高齢者の早期自動車運転免許証の返納により、電動アシスト自転車の需要拡大が北・南勢地域において見られた。しかし、一部の通販業者により、基準を満たさない製品が流通し、業界を混乱させているのも事実である。

非製造業	小売業	電器	梅雨明け後、連日の猛暑の影響で、エアコン需要が大幅に増え、連日エアコンの据え付けに追われている毎日であるが、平均単価はやや低く、全体への販売への影響は少ない。商品別では、エアコンのほか冷蔵庫・洗濯機・4Kテレビ等が好調である。8月度も引き続き気温の高い日が予想されており、夏物商品がけん引役となり、推移すると思われ、期待感も高まっている。
		石油	特にこの夏の燃料油販売数量は、台風の影響により異常気象となり、例年になく蒸し暑い日が続き、車内冷房等の影響もあり、前年対比102%の増販状況であった。収益については、先月同様に販売価格の競争もあり、中々改善しない状況であった。来月は、観光や帰省等により乗用車利用の為に燃料販売の増販と油外商品においての収益を期待したい。
		スポーツ	7月は高校野球の三重県予選又中学校の全国大会の各種目の予選と大会が重なり、用具、ユニフォーム等の用意でどの組合員の店も忙しかった。特に今年は雨が少なく、順調に開催できたようである。
	商店街	熊野	特に変化はない月となったが、来月同商店街で開催される熊野花火大会の協賛物産展や和太鼓フェス等の調整等で、慌ただしい月となった。また、月末には全国中学生ソフトボール大会の物産販売に出店する。残念ながら、あまり芳しくない売上状況となった。今後は、新たな商品開発が必要である。
	サービス業	旅館	今月は、全国的に宿泊業は不振であった。北九州をはじめ各地で起こった災害により、旅行動機が削がれたことと、消費の冷え込み等が原因であるように言われている。東京・大阪・京都等は一時落ちていたインバウンドの旅行者が戻り、落ち込みはなかったようである。このような中、県内においても同様に低調で、中旬からの夏休みのファミリー客に期待していたが、予約が思ったより伸びず、前年割れの施設が多かった。
		警備	仕事の受注量は、前年同様であるが、警備員が不足のため、大変苦慮している。
		内装工事業	7月も引き続き前年同月比は増加となり、業界の景況として好循環となっている。8月は盆休みもあり、この流れは一休みすると思われる。
		水道工事業（四日市）	今月は特に大きな変化は見られなかった。ただ、三重県の有効求人倍率が急上昇しているというニュースを聞くと、人員が不足していることを再認識させられた。
	運輸業	トラック	業界における労働者の長時間労働改善問題があるが、労働力の確保が困難な状況にある。

### 行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	
食料品	製麺	遠方でのイベントへの出店の助成金等がありましたら教えて頂きたい。
一般機器	四日市	大臣の不祥事やスキャンダルを国会で論じて無駄な議論を行う余裕が今の日本にあるのだろうか。不信感が募る。
サービス業	旅館	来年の高校総体に続いて、三重国体と大きな行事が予定されている。「スポーツ振興に貢献するため宿泊施設の環境整備」に支援をお願いしたい。